10. リース取引の会計処理

リース料総額が300万円以上かつリース資産の価額が固定資産計上基準額を上回るファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

リース料総額が300万円未満又はリース資産の価額が固定資産計上基準額を下回るファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

リース期間の中途において契約を解除することができないオペレーティング・リース取引の未経過リース料は次のとおりであります。

貸借対照表日後一年以内のリース期間に係る未経過リース料	9,072千円
貸借対照表日後一年を超えるリース期間に係る未経過リース料	—

11. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理方法は、税込方式によっております。

12. 端数処理について

財務諸表に係る金額の端数処理は千円未満を切捨てております。合計についても円単位で計算したものを端数処理して千円未満を切捨てております。

ただし、利益の処分に関する書類（案）については円単位で表示しております。

【貸借対照表注記】

１．当期の運営費交付金により財源措置が手当てされない賞与引当相当額		406,769千円
２．運営費交付金から充当されるべき退職給付引当金の見積額		3,671,061千円
３．担保資産及び担保付債務		
担保に供している資産	土地	4,000,046千円
	建物	11,787,231千円
上記に対応する債務	長期借入金	13,124,271千円
	一年以内返済予定長期借入金	1,356,494千円

４．ＰＦＩによる施設整備で取得した資産のサービス部分の対価の支払予定額

浜松医科大学外来患者用立体駐車場増築整備等事業

一年以内支払予定額	14,124千円
一年を超える支払予定額	98,868千円

なお、支払予定額は事業期間中の物価変動等に伴い改定されることがあります。

５．利益剰余金のうち法人移行時における固有の会計処理等に起因するもの

⑴　国から承継時において附属病院の建物、構築物等の時価評価等により、借入金見合いの資産の額が当該借入金に係る債務負担額を下回っていたこと等によるもの

附属病院に関する借入金の元金償還額の累計	23,078,155千円
当該借入金により取得した資産の減価償却費の累計	20,019,344千円
利益剰余金に与える影響額（差引き）	3,058,810千円

⑵　国立大学法人等が獲得した附属病院収益と診療機器等に係る減価償却費見合いの収益化額が二重になっていることによるもの

法人移行時に国から承継した資産について承継時に負債として計上していた額のうち、資産の減価償却費が診療経費に分類されるものに関する当該負債の収益化累計額	490,991千円
⑶　国からの承継時において、附属病院の財産的基礎と考えられる未収附属病院収入のうち、国からの出資ではなく譲与としたことによるもの	525,567千円
⑷　国からの承継時において、附属病院の財産的基礎と考えられる医薬品及び診療材料について、国からの出資ではなく譲与としたことによるもの	158,201千円
	4,233,572千円

６．未収附属病院収入に含まれる契約資産については、金額的重要性が乏しいため、注記を省略しております。

【損益計算書注記】

当期総利益のうち、法人移行時における固有の会計処理等に起因するもの

国からの承継時において、附属病院の建物、構築物等の時価評価等により、借入金見合いの資産の額が、当該借入金に係る債務負担額を下回っていたこと等によるもの

附属病院に関する借入金の元金償還額	1,331,911千円
当該借入金により取得した資産の減価償却費	1,367,215千円
当期総利益に与える影響額（差引き）	△　35,303千円

【キャッシュ・フロー計算書注記】

１．資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金	7,280,412千円
うち定期預金	1,020,861千円
資金期末残高	6,259,551千円

２．重要な非資金取引

⑴　現物寄附等の受入による資産の取得

工具器具備品	36,881千円
図書	1,032千円
合計	37,913千円

⑵　ファイナンス・リースによる資産の取得

工具器具備品	604,098千円

【重要な債務負担行為】

該当事項はありません。

【金融商品関係】

１．金融商品の状況に関する事項

当法人は、資金運用については預金、国債、地方債及び政府保証債等に限定し、資金調達については大学改革支援・学位授与機構からの借入れに限定しております。

資金運用に当たっては、国立大学法人法第35条の２が準用する独立行政法人通則法第47条及び国立大学法人法第33条の５第２項の規定に基づき、公債、Ａ格以上の社債及び売買目的有価証券等を保有しております。なお、当該運用資産は、金利や為替の変動による市場リスクや信用リスク等を包含していますが、資金運用管理規程に基づき適切なリスク管理を実施し、資金の運用状況や管理運用業務の実施状況を監視するために設置された資金運用管理委員会に報告しています。また、未収附属病院収入は、債権管理事務取扱規程に沿ってリスク管理を行っております。

長期借入金の使途は附属病院の整備資金であり、文部科学大臣の事前承認に基づいて借入れを実施しております。

２．金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、現金は注記を省略しており、預金、未収附属病院収入、未収入金、未払金及び短期借入金は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似することから、注記を省略しております。

（単位：千円）	貸借対照表計上額（＊１）	時価（＊１）	差額（＊１）
⑴　有価証券及び投資有価証券			
満期保有目的の債券	3,365,531	3,149,713	△215,818